# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日


上 場 会 社 名　　日本電子材料株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　6855　　URL　https://www.jem-net.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）　坂田　輝久
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　管理部門統括部長　（氏名）　石本　浩久　　TEL　06-6482-2007

半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　　2026年12月３日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 20,494 | 66.3 | 6,102 | 129.6 | 6,146 | 151.0 | 4,219 | 148.4 |
| 2026年３月期中間期 | 12,322 | 25.2 | 2,657 | 29.6 | 2,448 | 22.7 | 1,698 | 26.0 |

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　　4,489百万円（ 208.7%）　　2026年３月期中間期　　1,454百万円（△22.0%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 288.00 | ― |
| 2026年３月期中間期 | 134.39 | ― |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 64,300 | 48,687 | 75.7 |
| 2026年３月期 | 58,476 | 44,878 | 76.7 |

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　48,687百万円　　2026年３月期　44,878百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | ― | 30.00 | ― | 50.00 | 80.00 |
| 2027年３月期 | ― | 60.00 | | | |
| 2027年３月期(予想) | | | ― | 60.00 | 120.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　有

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 39,400 | 34.2 | 12,100 | 66.9 | 12,000 | 67.2 | 8,200 | 50.4 | 559.58 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　―　社（社名）　　、除外　―　社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 14,669,969株 | 2026年３月期 | 14,663,510株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 16,034株 | 2026年３月期 | 16,034株 |
| ③　期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 14,650,244株 | 2026年３月期中間期 | 12,639,655株 |

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会資料の入手方法）

当社は、2026年11月13日（金）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は同日12時00分にTDnetおよび当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 ……P. ２
（１）経営成績に関する説明 ……P. ２
（２）財政状態に関する説明 ……P. ２
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……P. ３
２．中間連結財務諸表及び主な注記 ……P. ４
（１）中間連結貸借対照表 ……P. ４
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 ……P. ６
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……P. ８
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……P. ９
（セグメント情報等の注記） ……P. ９
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……P. ９
（継続企業の前提に関する注記） ……P. ９

# １．当中間決算に関する定性的情報

## （１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、消費者マインドに持ち直しの動きがみられる中、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復基調が続きました。一方、先行きにつきましては、中東情勢や自然災害の影響、金融資本市場の変動等により、不透明な状況が続きました。

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、生成ＡＩ市場の拡大を背景に、データセンター向けを中心とした旺盛な需要が高い水準で継続しました。

このような事業環境の中、メモリー向けプローブカードにつきましては、国内外における需要の急拡大が続く中、生産能力増強に向けて進めてきた投資効果により生産量が着実に伸長し、売上高は前中間連結会計期間を大きく上回りました。非メモリー向けプローブカードにつきましても堅調に推移しました。利益面につきましても、国内工場が最大生産能力で高稼働を継続したことに加え、円安進行もあり、前中間連結会計期間を大きく上回りました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は20,494百万円（前中間連結会計期間比66.3％増）、営業利益は6,102百万円（同129.6％増）、経常利益は6,146百万円（同151.0％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は4,219百万円（同148.4％増）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりです。

a. 半導体検査用部品関連事業

半導体検査用部品関連事業につきましては、旺盛な需要を背景にメモリー向けプローブカードの拡販が進んだほか、非メモリー向けも堅調に推移しました。これらに加え、国内工場における高稼働の継続が寄与しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は20,385百万円（前中間連結会計期間比66.9％増）、セグメント利益は7,113百万円（同99.0％増）となりました。

b. 電子管部品関連事業

電子管部品関連事業の売上高は109百万円（前中間連結会計期間比0.5％減）、セグメント利益は３百万円（同15.6％減）となりました。

## （２）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,823百万円増加し、64,300百万円となりました。

これは主として、現金及び預金が929百万円減少しましたが、売掛金が4,409百万円、仕掛品が680百万円、機械装置及び運搬具（純額）が786百万円、建設仮勘定が692百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,014百万円増加し、15,612百万円となりました。

これは主として、長期借入金が624百万円減少しましたが、電子記録債務が215百万円、買掛金が2,098百万円、未払法人税等が363百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,809百万円増加し、48,687百万円となりました。

これは主として、利益剰余金が3,486百万円、為替換算調整勘定が265百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,472百万円減少し、当中間連結会計期間末には24,874百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、2,191百万円（前中間連結会計期間比49.2%減）となりました。

これは主として、売上債権の増加4,185百万円、法人税等の支払額1,369百万円等による減少要因があったものの、税金等調整前中間純利益6,174百万円、仕入債務の増加2,164百万円等による増加要因があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、2,341百万円（前中間連結会計期間は818百万円の資金の減少）となりました。

これは主として、定期預金の払戻による収入439百万円等による増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出1,775百万円、定期預金の預入による支出954百万円等による減少要因があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、1,460百万円（前中間連結会計期間は219百万円の資金の減少）となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出624百万円、配当金の支払額730百万円等による減少要因があったことによります。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日（2026年11月10日）「2027年３月期通期連結業績予想の修正及び剰余金の配当予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしましたのでご参照ください。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 27,110 | 26,180 |
| 受取手形 | 0 | ― |
| 電子記録債権 | 726 | 706 |
| 売掛金 | 10,609 | 15,019 |
| 有価証券 | 41 | 43 |
| 製品 | 574 | 630 |
| 仕掛品 | 1,768 | 2,449 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,234 | 2,639 |
| その他 | 523 | 492 |
| 貸倒引当金 | △23 | △34 |
| 流動資産合計 | 43,566 | 48,126 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,196 | 5,139 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,798 | 3,584 |
| 建設仮勘定 | 2,070 | 2,763 |
| その他（純額） | 2,852 | 2,767 |
| 有形固定資産合計 | 12,917 | 14,254 |
| 無形固定資産 | 281 | 249 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,711 | 1,671 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 1,710 | 1,670 |
| 固定資産合計 | 14,909 | 16,173 |
| 資産合計 | 58,476 | 64,300 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 電子記録債務 | 661 | 877 |
| 買掛金 | 840 | 2,938 |
| 設備電子記録債務 | 49 | 113 |
| 1年内償還予定の社債 | 100 | 100 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,249 | 1,249 |
| 未払法人税等 | 1,421 | 1,784 |
| 賞与引当金 | 723 | 748 |
| その他 | 1,886 | 1,873 |
| 流動負債合計 | 6,932 | 9,686 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 2,700 | 2,650 |
| 長期借入金 | 3,494 | 2,869 |
| その他 | 470 | 406 |
| 固定負債合計 | 6,665 | 5,925 |
| 負債合計 | 13,597 | 15,612 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,205 | 9,231 |
| 資本剰余金 | 9,424 | 9,450 |
| 利益剰余金 | 25,017 | 28,504 |
| 自己株式 | △16 | △16 |
| 株主資本合計 | 43,630 | 47,169 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11 | 16 |
| 為替換算調整勘定 | 1,236 | 1,501 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,248 | 1,518 |
| 純資産合計 | 44,878 | 48,687 |
| 負債純資産合計 | 58,476 | 64,300 |

## （２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

### 中間連結損益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 12,322 | 20,494 |
| 売上原価 | 6,991 | 11,301 |
| 売上総利益 | 5,330 | 9,193 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 629 | 777 |
| 退職給付費用 | 9 | 9 |
| 研究開発費 | 824 | 815 |
| その他 | 1,209 | 1,487 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,672 | 3,090 |
| 営業利益 | 2,657 | 6,102 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 17 | 15 |
| 受取配当金 | 2 | 2 |
| 為替差益 | ― | 77 |
| その他 | 9 | 10 |
| 営業外収益合計 | 29 | 105 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 25 | 25 |
| 社債利息 | 3 | 21 |
| 為替差損 | 196 | ― |
| 固定資産廃棄損 | 12 | 14 |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 238 | 61 |
| 経常利益 | 2,448 | 6,146 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | 19 | 27 |
| 特別利益合計 | 19 | 27 |
| 税金等調整前中間純利益 | 2,468 | 6,174 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 762 | 1,841 |
| 法人税等調整額 | 7 | 112 |
| 法人税等合計 | 769 | 1,954 |
| 中間純利益 | 1,698 | 4,219 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 1,698 | 4,219 |

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益 | 1,698 | 4,219 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | 4 |
| 為替換算調整勘定 | △246 | 265 |
| その他の包括利益合計 | △244 | 269 |
| 中間包括利益 | 1,454 | 4,489 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 1,454 | 4,489 |

## （３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 2,468 | 6,174 |
| 減価償却費 | 692 | 739 |
| 株式報酬費用 | 13 | 23 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 64 | 25 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 3,137 | △4,185 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △678 | △1,093 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △149 | 2,164 |
| 補助金収入 | △19 | △27 |
| その他 | △276 | △258 |
| 小計 | 5,252 | 3,562 |
| 利息及び配当金の受取額 | 20 | 17 |
| 利息の支払額 | △29 | △47 |
| 補助金の受取額 | 19 | 27 |
| 法人税等の支払額 | △952 | △1,369 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,310 | 2,191 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | △0 | △0 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △719 | △1,775 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 5 |
| 投資有価証券の取得による支出 | ― | △78 |
| 定期預金の預入による支出 | △647 | △954 |
| 定期預金の払戻による収入 | 570 | 439 |
| その他 | △21 | 23 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △818 | △2,341 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 1,100 | ― |
| 長期借入金の返済による支出 | △711 | △624 |
| 社債の償還による支出 | △50 | △50 |
| リース債務の返済による支出 | △53 | △55 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | ― |
| 配当金の支払額 | △503 | △730 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △219 | △1,460 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △132 | 138 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 3,139 | △1,472 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 11,538 | 26,346 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 14,677 | 24,874 |

## （４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | 調整額（注１） | 中間連結損益計算書計上額（注２） |
|---|---|---|---|---|---|
| | 半導体検査用部品関連事業 | 電子管部品関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,212 | 109 | 12,322 | ― | 12,322 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | ― | ― | ― | ― |
| 計 | 12,212 | 109 | 12,322 | ― | 12,322 |
| セグメント利益 | 3,573 | 4 | 3,577 | △ 919 | 2,657 |

（注）１．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | 調整額（注１） | 中間連結損益計算書計上額（注２） |
|---|---|---|---|---|---|
| | 半導体検査用部品関連事業 | 電子管部品関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 20,385 | 109 | 20,494 | ― | 20,494 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | ― | ― | ― | ― |
| 計 | 20,385 | 109 | 20,494 | ― | 20,494 |
| セグメント利益 | 7,113 | 3 | 7,116 | △ 1,013 | 6,102 |

（注）１．セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。